

2007 JUSTSAP Symposium Report

編集顧問 鈴木良昭

2007年11月12日から15日まで、ハワイ島、ワイコロアマリオットホテルにて、JUSTSAP (Japan-U.S. Science, Technology & Space Applications Program) シンポジウムが開催された。このシンポジウムは、日本と米国間の科学技術及び宇宙開発に関する協力の可能性について意見交換をするため、毎年ハワイにて開催され、今回が17回目の開催となる。参加者は日本側21名、米国側65名で現地ハワイからの参加がかなりあるため、米国側からの参加者数が多く、例年同様であった。今回の主要テーマは、"Expanding International Collaboration for Space Exploration" で、以下の5つの主要分野について意見交換が行われた。

- (1) PISCES (Pacific International Space Center for Exploration System),
- (2) Commercial opportunities for the International Space Station,
- (3) Innovative space energy systems,
- (4) The design and promotion of advanced satellites for communications and earth observation,
- (5) Robotic precursor missions to our moon and Mars,

初日にはオープニングセレモニーが開催された。

写真1はJUSTSAP ChairmanのStephene Dayさんの挨拶の様子。



オープニングセレモニーの様子

2日目から上記5つのテーマ毎のプロジェクトチーム会合が並行して開催された。

(4)の衛星通信に関するチーム会合では、2007年に打ち上げられるWINDSプロジェクトの状況とハワイ大学ピースサットプロジェクトによる利用実験の検討や、米国でのブロードバンド衛星システムであるヒューズネットの状況とWINDSプロジェクトでの協力可能性について議論が行われた。また、将来の月、火星基地でのデータアーカイブや地球との高速通信システムについても意見交換が行われた。

最終日には、各プロジェクトチームからの報告とステアリング委員会からの2008年のJUSTSAPの開催計画が承認され会議は成功裏に終了した。

(参考)

URL <http://www.uhh.hawaii.edu/affiliates/justsap/>



会場のホテルの中庭